

獨協後期

教育力の高いロールモデル達

診断戦略とエビデンス力強化

ベッドサイドで即フィードバック

フィジカル、フィジカル、フィジカル!

研修後のキャリアプランも安心

総合内科 + 家庭医療、大学病院 + 地域医療、外来 + 救急 + 病棟

指導医バックアップの新患・継続外来、屋根瓦式病棟チーム

多彩な症候、疾患群の総合診療コンサルト(診断・マネジメント)

クラウドシステムによるチーム内最新エビデンス共有

多彩なカンファ(診断戦略・50ジャーナルアップデート・QI)

論文執筆のサポート、雑誌執筆のチャンス

獨協総診の後期研修プログラム(卒後3年目以降)は、診断思考とベッドサイドのアート、そしてEBMの訓練を主軸にした3年間のコースです。目指す研修アウトカムは、「修了後はどんな臨床現場でも一人に対応できる総合力の習得」です。1167床28科の大学病院でいながら、幅広くコモンからレア疾患までバラエティ豊富な臨床経験を外来・救急・病棟の現場でバランスよく積むことができます。科間の垣根も低く、患者中心で臨床重視のドクターに働きやすい環境です。プログラムは総合内科コースと総合診療コースがあり、それぞれ総合診療専門医、総合内科専門医の取得を目指します。

ローテートの核となる総合診療科のトレーニングでは急〜慢性期までの世界標準の内科管理、また診断戦略に基づいた診断思考力・問題解決力やフィジカルなど臨床スキルの訓練に重点を置き更にベッドサイドで集中トレーニングを受けることができます。総合診療医コースでは獨協総診でのトレーニングに加え、日本の家庭医療におけるパイオニア、北海道家庭医療学センターで外来診療、訪問診療、地域包括ケアなど様々なセッティングでのトレーニングをびっしり受けることができます。

- ・患者さんを急性期も慢性期も、包括的にケアすることが好き
- ・ポジティブ思考でピンチもチャンスに変える、そんなチームで仕事してみたい
- ・医学生だったころの初心をそのままに、医師という仕事のやりがい存分に感じたい
- ・病院の総合診療医としてしっかり学びたい、次のステップのために盤石な内科の力を鍛えたい
- ・急性期の病院総合診療を学びつつ、一方で家庭医療のトレーニングもしっかりやりたい

そんなあなたこそ、ぜひ獨協総診の後期研修プログラムに応募して下さい。

あなたのフィールドはここにあります。

見学・面接は随時行います(定員に達し次第締め切ります)。

ご興味を持たれた方は総合診療科秘書 dokkyotiger@gmail.com または

ご見学時にスタッフまでご連絡ください。

一緒にチームで仕事ができることを楽しみにお待ちしております。

獨協医科大学病院総合診療科

志水 太郎

